

2023年3月吉日

常葉大学  
学長 江藤 秀一 殿

## 動物実験に関する検証結果の報告について

貴機関より依頼のありました、動物実験の実施状況に関する検証について、提出された資料と訪問調査により検証結果をまとめましたので、別添のとおり報告いたします。検証実施証明書も同封させていただきます。

なお、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」では、検証の結果を、インターネットの利用、年報の配布その他の適切な方法により公表することとなっておりますので、申し添えます。

公益社団法人日本実験動物学会  
外部検証委員会 委員長 越本 知大



動物実験に関する検証結果報告書

常葉大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2023年3月

2023年3月10日

常葉大学

学長 江藤秀一 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会

理事長 三好一郎



対象機関：常葉大学

申請年月日：2022年7月28日

訪問調査年月日：2022年12月9日

調査員：秦野伸二、小出 剛、奥村正直

#### 検証の総評

常葉大学は、1980年に創立された常葉学園教育学部を前身とし、2013年に常葉学園大学、浜松大学、富士常葉大学の3大学が統合され、現在では4つのキャンパスに10学部19学科、大学院4研究科5専攻を擁する私立総合大学である。本検証は、その中の草薙キャンパスと浜松キャンパスにある動物実験施設を対象としたものである。常葉大学では、学長の下、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に則して、「常葉大学各種委員会等の運営規程」及び「常葉大学における動物実験に関する規程（以下「機関内規程」という。）」が策定されている。動物実験は、動物実験委員会の審査、学長の承認を経て適正に実施されている。動物実験を実施するための飼養保管施設及び動物実験室は、機関内規程に基づき、実験動物管理者を中心に環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に則して適正に管理・運用されている。特に草薙キャンパスの飼養保管施設は4年前に稼働開始した新しい施設であり、内部設備等も適正に維持されており、全体的に清潔に管理・運営されている点は高く評価できる。一方、安全管理及び緊急時への対応マニュアル等について一部整備されていない問題があり、また教育訓練や公開情報についても一部改善の必要がある。今後、機関管理の考え方に則って、各種記録の整備と保管を含めて引き続き積極的な改善や取り組みの推進に努められたい。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
機関内規程が定められ、基本指針に則して学長の責務が明示されるとともに、動物実験委員会、飼養保管施設管理者及び実験動物管理者それぞれの役割が明記され、それらの関係を示す組織体制図も整備されている。従って、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
機関内規程に、常葉大学の動物実験の実施状況と若干異なる点が含まれている。公私立大学実験動物施設協議会（以下「公私動協」という。）が公開している最新の機関内規程（雛形）を参考に、現行の機関内規程で過不足する項目について、常葉大学での動物実験の実施状況にあった機関内規程に改善することを検討されたい。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「常葉大学各種委員会等の運営規程」及び機関内規程に基づき、基本指針に則した全学的な動物実験委員会が設置されている。委員会は、基本指針で定められた3要件に属するそれぞれ複数の委員で構成されている。従って、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

機関内規程により、動物実験計画の立案、審査、動物実験委員会での審査、学長による承認及び結果報告の手続き等が規定されている。実験計画書、実験結果報告書、並びに変更申請書様式は整備されている。従って、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

動物実験の中止と終了については、動物実験結果報告書で兼用しているとのことであるが、国立大学法人動物実験施設協議会が提案している様式を参考に、それぞれの書式等を整備されたい。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理を要する動物実験に関し、「常葉大学遺伝子組換え実験安全管理規程」及び「常葉大学各種委員会等の運営規程」に基づき常葉大学遺伝子組換え実験安全委員会が設置されている。一方、学内において感染動物実験及び放射線取扱実験は禁止されている。従って、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

感染実験等の機関内での実施が禁止されている動物実験について、機関内規程で実施可能な条項が含まれている。機関内で禁止されている動物実験は、機関内規程でも統一された内容に改訂することを検討されたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

施設等（飼養保管施設）は管理者（学部等の長）が申請し、学長からの諮問を受け動物実験委員会が審査して学長が承認する体制である。また、飼養保管施設には実験動物管理者が置かれている。飼養保管マニュアルは、浜松キャンパスの飼養保管施設では整備されているが、問題等は発生していないものの草薙キャンパスの飼養保管施設では整備されていない。さらに、動物逸走時の対応マニュアル、緊急時の対応マニュアル及び動物の搬出入に関する記録台帳などは両キャンパスで未整備である。そして、48 時間以内の利用を想定した動物実験室の状況・運用方法についての記録が不明瞭である。従って、実験動物の飼養保管の体制について、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

実験動物の飼養保管施設における飼養保管マニュアル (SOP)、逸走時の対応マニュアル、及び機関内規程の第 29 条に則った緊急時対応マニュアルの整備を早急に行う必要がある。動物の搬出入に関する記録台帳、また、動物実験室の管理運営、及び運用マニュアルと緊急時対応マニュアルの整備も必要である。さらに、緊急時連絡体制が十分でないことから、動物実験施設での事故等を想定した緊急連絡網の整備もあわせて進められたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

草薙キャンパスの実験動物飼養保管施設は、新設された校舎に設置されており、入退出時のセキュリティ管理システム、SPF 仕様の動物飼養保管室、衛生的な洗浄室と滅菌設備等、充実した設備が整備されている点は評価できる。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>浜松キャンパスと草薙キャンパスに分かれているため、動物実験委員会は基本的にはメール審議で実施されている。実験計画書の申請にあわせて随時実験計画が審査されている。従って、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験委員会による審議結果等の記録について、議論の過程を含めてメールでの保管に止まっていることから議事録として記録の保管に努められたい。</p>

### 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>機関内規程に基づき、動物実験計画書は適切に審査され、問題があった場合には修正を求めたうえで承認されている。従って、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>年度ごとに、「動物実験計画書」とそれに対応した「動物実験結果報告書」及び「動物実験の自己点検票」をあわせて動物実験委員会で点検・評価するとともに適切に保管・管理することを検討されたい。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>遺伝子組換え動物実験は、遺伝子組換え実験安全委員会で審査し、承認された後に動物実験計画書を審査している。動物実験委員会と遺伝子組換え実験安全委員会には、委員を兼任している者が2名含まれ、遺伝子組換え実験と動物実験に関する情報共有がなされている。安全管理に注意を要する動物実験に必要な安全設備が整備されたうえで適正に実施され、感染実験及び放射線物質の投与実験は禁止されている。麻薬及び向精神薬等の使用は、別途大学で管理されており、安全管理上の問題も生じていない。従って、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</li> </ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>草薙キャンパスの飼養保管施設は、4年前に新築された校舎に設営されており、微生物モニタリングも定期的実施されている。しかし、当該項目の自己点検・評価結果は、草薙キャンパスのもののみ記載され、浜松キャンパスの自己点検・評価結果が示されていない。また、各キャンパスの動物実験室の申請書は整備されているものの、動物実験委員会として承認された動物実験室の把握は不十分である。従って、実験動物の飼養保管状況について、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</li> </ul>



<p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>機関内規程に基づく両キャンパスにおける自己点検・評価の適切な実施と記録の保管について改善されたい。</p>

## 5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>草薙キャンパスの飼養保管施設は、4年前に稼働開始した新しい施設であり、衛生面・管理面ともに優れた状態で維持管理されている。飼養保管施設の入退室におけるセキュリティ管理がなされ、記録簿がある。また、浜松キャンパスの施設状況についても適切に維持管理されている。いずれの施設も整理整頓されている。従って、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>飼養保管施設は、申請・承認時に動物実験委員会により調査されているが、定期的調査は行われていない。委員会が、定期的に施設運用状況の確認をすることが望ましい。</p>

## 6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験実施者に対し動物実験講習会への参加を義務づけており、学生を含め毎年100名以上が受講している。講習会は、キャンパスごとに行われている。また、実験動物管理者が外部機関の実施する管理者向け教育を受講していることは高く評価できる。従って、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p>

<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 受講記録は、受講者名簿等の文書としての保存に努められたい。また、浜松キャンパスにおいては人獣共通感染症の教育も含めた教材が整備されているが、草薙キャンパスではVTRの視聴のみで、人獣共通感染症に関する教育は行われていない。機関内規程第30条に則って、両キャンパスでの教育訓練に人獣共通感染症に関する内容を追加されたい。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 「動物実験に関する自己点検・評価報告書」により、自己点検・評価が行われ、動物の飼養保管状況も含めてホームページ上の情報公開が適正に行われている。従って、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 ホームページに掲載されている機関内規程が古いままで現規程が公開されていない点、並びに動物実験委員会名簿がホームページ上に公開されていない点は改善が望まれる。今回受検している外部検証の結果も、適切に公開されたい。

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

ゼブラフィッシュを用いた動物実験の申請があった際には、飼養保管施設の承認や動物実験計画書の審査・承認などの実績がある。積極的な取り組みとして高く評価できる。
--